

# 異文化交流深めよう

西海学園高と  
米国の高校 友好校協定に調印



菅沼宏比古・西海学園理事長と記念品を交換する  
エミリー校長(右)＝佐世保市春日町、西海学園高

派遣し、ホームステイなどで交流している。協定は、両校の生徒と教師が互いの文化に触れ、知識を分かち合うことなどが目的。

調印式では、ベアークリーク高からエミリー校長ら教員三人が来校。西海学園高の全校生徒が日の丸と星条旗の小旗や拍手で出迎え、両校長が調印状に署名した後、記念品の交換などがあった。

三上校長は「若者の交流が、両国の望ましい関係を築く上での礎になる」とあいさつ。エミリー校長は「協定締結は」文化や人の交流を深め、教育の可能性を伸ばす機会になる」と期待を述べた。

【佐世保】佐世保市春日町の西海学園高(三上升校長、八百四十人)で九日、同校と米国・コロラド州デンバー市のベアーク

リーク高(フィリス・エミリー校長)との友好校協定調印式があった。両校は、四年前から語学研修のため生徒を相互